

森をつくる活動

4 全体計画

事業内容		H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	計	
計 画	育種母樹林整備事業 ジバレリン処理	300本	300本	300本	300本	300本	1,500本	
	花粉症対策品種等育成推進事業	1式	1式	1式	1式	1式	1式	
	苗木供給体制整備事業 第2世代精英樹（上段） 花粉症対策品種（下段）	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 1,000本 ヒノキ 1,000本
			ｽｷﾞ 100本	ｽｷﾞ 300本	ｽｷﾞ 200本			ｽｷﾞ 600本
	種子採取事業	1式	1式	1式	1式	1式	1式	
	金額（千円）	37,149	60,673	39,468	40,855	54,468	232,613	
うち森林環境税(千円)	15,374	27,455	32,202	32,202	29,586	136,819		
実 績	育種母樹林整備事業 ジバレリン処理	300本	300本	300本			900本	
	花粉症対策品種等育成推進事業	1式	1式	1式			1式	
	苗木供給体制整備事業 第2世代精英樹（上段） 花粉症対策品種（下段）	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 273本 ヒノキ 230本	ｽｷﾞ 100本 ヒノキ 200本				ｽｷﾞ 573本 ヒノキ 630本
			ｽｷﾞ 100本	ｽｷﾞ 100本				ｽｷﾞ 200本
	種子採取事業	1式	1式	1式			1式	
	金額（千円）	28,129	43,522	37,040			108,691	
うち森林環境税(千円)	15,029	27,176	28,644			70,849		

### ⑨林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

第5次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」の推進を図るとともに、プランの目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト」に取り組みます。

#### 1 ポイント

主伐を計画的・段階的に導入して県産材の増産を図り、県内の製材・加工業等へ安定供給することで、林業を地域の成長産業として育成する「林業躍進プロジェクト」の進行管理等を行うため、関係市町及び森林林業関係者を参集して推進会議を行います。

また、平成28年3月に策定した、第5次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」を推進するため、課題解決のための方策の検討や施策への反映等を行うためのプロジェクトチーム検討会の開催や、森林・林業・木材産業の現状を把握するための調査を行います。

#### 2 事業内容

事業名	事業内容
(1) 林業躍進プロジェクト推進会議の開催	各地域における推進会議の開催 (参集者：市町長、林業関係団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等)
(2) えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	えひめ森林・林業振興プランプロジェクトチーム検討会の開催
(3) 森林・林業・木材産業現状調査事業	森林・林業・木材産業の現状把握調査

#### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 46千円（全体事業費 184千円）

(2) 実施状況



林業躍進プロジェクト推進会議

#### 4 事業期間

平成27年度 ～ 平成31年度

#### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回	4回	—	16回
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	事業費	303千円	303千円	303千円	303千円	303千円	1,515千円
	うち森林環境税	111千円	111千円	111千円	111千円	111千円	555千円
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回			12回
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回	2回	2回			6回
	事業費	190千円	302千円	184千円	千円	千円	676千円
	うち森林環境税	22千円	111千円	46千円	千円	千円	179千円
実施箇所		東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）、県庁	県庁	

## ⑩森林吸収クレジット販売促進事業

森林資源を活用した新たな環境ビジネスの構築と地球温暖化対策の推進を図るため、カーボン・オフセットの仕組みに用いられるオフセット・クレジットの普及啓発及び販売促進活動を実施します。

### 1 ポイント

県内では、地球温暖化対策の一つである環境省のオフセット・クレジット（J-VER）制度に基づき、約1万t-CO<sub>2</sub>のオフセット・クレジットが発行されています。

そこで、オフセット・クレジットの販路を開拓し、クレジットの販売により得られた資金を森林整備等に還元することで、持続可能な森林経営等が行えるような仕組みづくりを推進し、新たな環境ビジネスの構築と地球温暖化対策の推進を図ります。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
オフセット・クレジット（J-VER）販売促進事業	オフセット・クレジットの販売促進を図る目的で、市町やクレジットの創出者等により設立された協議会の活動に係る経費の一部を支援します。
カーボン・オフセット普及啓発事業	カーボン・オフセット制度の普及啓発を図るため、企業や一般県民を対象にしたPR活動を行うとともに表彰制度を設けます。
四国4県連携カーボン・オフセット推進事業	四国4県が連携してカーボン・オフセットの普及拡大を図るとともに、全国を視野に入れたオフセット・クレジットの活用と販路拡大策について検討します。

### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 770千円

(2) 実施状況



エコプロ 2017



WOODコレクション 2018

### 4 事業期間

平成27年度～平成31年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	普及啓発活動 (協議会による活動を含む)	5回	5回	5回	5回	5回	25回
	事業費	1,199千円	1,162千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	5,823千円
	うち森林環境税	1,199千円	1,162千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	5,823千円
実績	普及啓発活動 (協議会による活動を含む)	3回	3回	3回			9回
	事業費	767千円	1,015千円	770千円	千円	千円	2,551千円
	うち森林環境税	767千円	1,015千円	770千円	千円	千円	2,551千円
実施箇所		県内	県内・愛媛県・東京都	県内・愛媛県・東京都	県内	県内	

## ⑪ 次世代の森づくり促進事業

「林業躍進プロジェクト」の目標達成に向けて、主伐の推進を図り、県産材の増産を図るとともに、森林の若返りを図り、健全な森を次世代に引き継ぎます。

### 1 ポイント

県では、平成 26 年度から、これまでの間伐に加え主伐を計画的・段階的に導入することで、県産材の増産による関連産業の振興を図る林業躍進プロジェクト（H26～30）を推進してきました。

しかしながら、長引く木材価格の低迷等により収益性が悪化していることから、遠隔地や急傾斜地などの条件不利地においては、主伐を回避する事案が相次ぐなど、プロジェクト創設時には想定していなかった事態が発生しています。

一方、県内の製材業界においては、T P P 対策事業等の活用により施設の大型化が進み木材需要が急速に伸びているほか、平成 30 年からはバイオマス発電所が稼働するなど、林業界においては、平成 29・30 年の 2 年間で木材需要の増加分に対する県産材シェアを確保することが至上命題となっています。

このことから、条件不利地における主伐に対して経費の一部を支援することにより、県産材の安定供給を促進するとともに、森林の若返りを図り、健全な森を次世代に引き継ぎます。

### 2 事業内容

#### (1) 次世代の森づくり促進事業

遠隔地、急傾斜等の条件不利森林や木材価格の下落により、所有者の自助努力では森林資源の更新・利活用が期待できない箇所について、経費の一部を支援することにより、主伐による県産材の供給を促進するとともに、森林の若返りを図り、健全な森を次世代に引き継ぐ。

【補助対象】 関連条件整備（森林の調査、所有者への同意の取り付け）  
更新伐（更新を前提とした皆伐、択伐）

【事業主体】 森林組合、林業事業体等

#### (2) 広葉樹林化モデル事業

伐採跡地において、クヌギ、コナラなどの広葉樹植栽を実施し、条件不利地における広葉樹林化のモデル林造成を行うとともに、シカ害対策や広葉樹林化に関する問題の洗い出し及び改善点の検討を行ったうえで、所有者や林業事業体に対して広葉樹林化手順の普及を図る。

【事業対象】 広葉樹植栽・下刈り

【事業主体】（公財）愛媛の森林基金

### 3 平成 29 年度実績

(1) 実施額 53,501 千円（全体事業費 53,501 千円）

(2) 実施状況

#### ①次世代の森づくり促進事業

事業体名	実施個所	実 績		
		搬出材積	面積	補助金額
宇摩森林組合ほか	四国中央市ほか	54,316 m <sup>3</sup>	181.05ha	49,439,600 円

#### ②広葉樹林家モデル事業

事業体名	実施個所	実 績		
		植栽面積	鳥獣害防止施設	補助金額
(公財)愛媛の森林基金	今治市ほか	7.72ha	2.69ha	4,061,954 円

### 4 事業期間

平成 29 年度～平成 30 年度

## 森をつくる活動



## 5 全体計画

事業内容		H 29	H 30	計
計 画	次世代の森づくり促進事業	160ha	200ha	360ha
	広葉樹林化モデル事業	10ha	20ha	30ha
	事業費	55,070 千円	68,640 千円	123,710 千円
	うち森林環境税	55,070 千円	68,640 千円	123,710 千円
実 績	次世代の森づくり促進事業	181.05ha		181.05ha
	広葉樹林化モデル事業	7.72ha		7.72ha
	事業費	53,501 千円		53,501 千円
	うち森林環境税	53,501 千円		53,501 千円
実施個所		四国中央市ほか		四国中央市ほか

## ⑫木製ダム設置実証事業

荒廃溪流からの土砂等の流出を防止するため間伐を行うほか、モデル的に「木製ダム」を設置し、設置方法等の検討や土砂災害防止効果の検証を行います。

### 1 ポイント

流域を面的に保全していくうえで、中・下流域の「治山ダム」「砂防堰堤」に加え、上流域での「木製ダム」を組み合わせることが効果的と考えられます。

本事業では、上流域の公共治山事業として採択されない荒廃した溪流において、モデル的に「木製ダム」を設置するとともに、効果的な木製ダムの整備方針や基準の作成、土砂災害防止効果の検証を行います。

### 2 事業内容

<p>1 木製ダム設置事業 荒廃溪流からの土砂等流出の防止 ・土砂等不安定堆積物の除去、木製ダムの設置、森林整備（本数調整伐）</p>	<p>【事業主体】 県 【実施箇所数】 3箇所/年 【採択基準】 台風災害等荒廃した溪流で、公共事業として採択されないことから放置されている箇所のうち次の全てを満たすもの。 ① 下流に人家等保全対象が存すること ② 1箇所の工事費（年間計画額）が200万円以上であること ③ 現に森林が荒廃して溪流に土砂が認められる箇所で、整備対象森林面積が1.0ha以上であること</p>
<p>2 木製ダム検討プロジェクトチームの設置 木製ダムの構造や施工方法並びに普及方法の検討や効果検証を行う</p>	<p>【構成員】 農林水産部森林局職員、土木部河川港湾局職員、学識経験者等</p>

### 3 平成29年度実績

(1) 実施額 15,000千円

(2) 実施状況



四国中央市金田町（金川）



大洲市（新谷）



宇和島市津島町（御内）

森をつくる活動

4 事業期間 平成27年度 ～ 平成30年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	木製ダム設置数	3基	3基	3基	1基		9基
	森林整備面積	3ha	3ha	3ha	1ha		9ha
	事業費	15,500千円	15,000千円	15,000千円	1,266千円	千円	46,766千円
	うち森林環境税	15,500千円	15,000千円	15,000千円	1,266千円	千円	46,766千円
実績	木製ダム設置数	4基	6基	3基			13基
	森林整備面積	3.9ha	4.3ha	5.7ha			13.9ha
	事業費	14,000千円	15,000千円	15,000千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	14,000千円	15,000千円	15,000千円	千円	千円	千円
実施箇所		西条市(2) 松山市(1) 愛南町(1)	今治市(2) 久万高原町(2) 西予市(2)	四国中央市(1) 大洲市(1) 宇和島市(1)			

### ⑬ 木質バイオマス利用促進事業

林地残材等の木質バイオマスの利用拡大を図るとともに、木材の新たな利用用途開発を支援し、中山間地域を支える林業の振興・木材の利用拡大を図ります。

#### 1 ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出利用経費に対する支援を行い、製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、今後需要が見込まれる発電利用に対する低コスト化の手法を検討します。

また、民間企業等のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発と普及を支援し、木材の多面的な利用を推進し、木材の利用拡大を図ります。

#### 2 事業内容

##### (1) 木質バイオマス用低質材生産システムの構築・検証

林地残材等の木質バイオマス利用を推進するため、今後需要が見込まれる発電利用に対する低コスト化の手法等について検討を行います。

##### (2) 森林整備円滑化モデル事業

通常の搬出間伐の請負施業ではコストが合わず、放置されている林地残材の搬出について、一連作業の改善を通じてコストダウンを図る仕組みを導入するに当たり、運搬経費の一部を補助します。

#### 3 平成 29 年度実績

(1) 実績額 15,700千円

(2) 実施内容

##### ① 森林整備円滑化モデル事業

放置されている林地残材を木質バイオマスとして有効活用を図るため、木質バイオマスの運搬経費の一部に対し、支援を行った。(28,400 m<sup>3</sup>)

##### ② 木質バイオマス用低質材生産システムの構築・検証

林地残材の搬出について、一連作業の改善を通じてコストダウンを図る仕組みを導入するに当たり、以下のとおり運搬経費の一部を支援した。(139 m<sup>3</sup>)

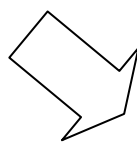
事業主体	実施内容
伊予森林組合	クスギバイオマス低コスト生産検証事業（車両系）



#### 4 事業イメージ



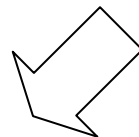
森林整備後放置された低質材



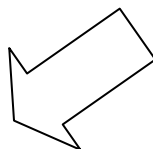
搬出・利用を促進



チップに加工



原紙



#### 5 事業期間

平成28年度～平成31年度

#### 6 全体計画

事業内容		H28	H29	H30	H31	計
計画	林地残材等の有効利用量	100m <sup>3</sup>	45,100m <sup>3</sup>	45,100m <sup>3</sup>	45,100m <sup>3</sup>	135,400m <sup>3</sup>
	事業費	1,500 千円	23,000 千円	23,000 千円	23,000 千円	70,500 千円
	うち森林環境税	1,500 千円	23,000 千円	23,000 千円	23,000 千円	70,500 千円
実績	林地残材等の有効利用量	1,156 m <sup>3</sup>	28,539 m <sup>3</sup>			29,695 m <sup>3</sup>
	事業費	1,500 千円	15,700 千円			16,200 千円
	うち森林環境税	1,500 千円	15,700 千円			16,200 千円
実施箇所		県内	県内			

## ① 木質バイオマス利用促進事業

林地残材等の木質バイオマスの利用拡大を図るとともに、木材の新たな利用用途開発を支援し、中山間地域を支える林業の振興・木材の利用拡大を図ります。

### 1 ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出利用経費に対する支援を行い、製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、今後需要が見込まれる発電利用に対する低コスト化の手法を検討します。

また、民間企業等のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発と普及を支援し、木材の多面的な利用を推進し、木材の利用拡大を図ります。

### 2 事業内容

#### (1) 木質バイオマス有効活用事業

事業主体	製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の加工・製造者等のうち、安定的な木質バイオマス利用を行う者。 また、加工・製造業者に対し、県森林組合連合会、森林組合、林業事業体等が安定的に木質バイオマスの供給を行う場合は、林業関係者が事業主体となる。
補助対象者	森林所有者等（補助金は、事業主体を通じて森林所有者等へ買取代金とともに交付する。）
補助対象木材	間伐等（主伐を含む）を実施した森林内から搬出し、製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の製品原料として、安定的に利用する林地残材等の木質バイオマス
補助単価	1,500 円/m <sup>3</sup> 【基準単価(8,000 円/m <sup>3</sup> )と買取単価(5,000 円/m <sup>3</sup> )の差額 1/2 相当額】
平成 29 年度事業量	10,000m <sup>3</sup>

#### (2) 木質バイオマス利用調査事業

他県の優良な林地残材利用事例について調査を実施し、林業関係等者に普及を図ります。

事業主体：愛媛県木材市場連盟

補助金額：200 千円

#### (3) 新たな県産材利用促進事業

##### ① 県産材利用用途開発事業

民間事業のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発を支援します。

##### ② 県産材利用用途普及事業

新たな県産材の利用方法等に関する説明会を実施します。

### 3 平成 29 年度実績

(1) 実績額 17,366 千円

(2) 実施内容

#### ① 木質バイオマス有効活用事業

林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマス搬出経費に対し支援を行った。(10,000 m<sup>3</sup>)

#### ② 木質バイオマス利用調査事業

他県の優良な林地残材利用事例を調査し、林業関係者への普及を図った(1 件)

#### ③ 新たな県産材利用促進事業

民間企業等のアイデアを活かし、製材製品以外の県産材の利用商品や利用方法の開発に対し、以下のとおり支援を行った。(5 件)

木をつかう活動

事業主体	実施内容
(一社) 愛媛県木材協会	一般流通材を用いた木造トラスの開発
愛媛県森林組合連合会	組立式の展示ブースの開発
(有) 露口製材所	高調湿性壁板の開発
(株) 武田林業	県産材を用いたフレグランス製品の開発
久万造林 (株)	木チップを入れた和紙の開発
計	5件

4 事業イメージ



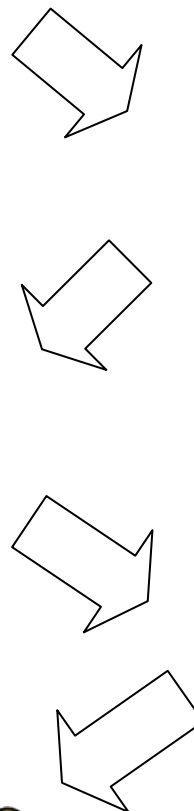
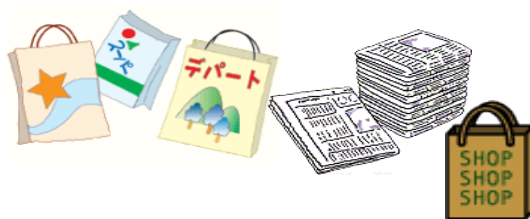
森林整備後放置された低質材



搬出・利用を促進



チップに加工



5 事業期間

平成27年度～平成31年度

木をつかう活動

6 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	林地残材等の有効利用量	10,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	50,000m <sup>3</sup>
	他県の林地残材利用例視察件数	1件	1件	1件	1件	1件	5件
	新たな県産材利用件数	2件	2件	2件	2件	2件	10件
	事業費	23,557千円	23,485千円	18,407千円	13,407千円	8,407千円	87,263千円
	うち森林環境税	23,557千円	23,485千円	18,407千円	13,407千円	8,407千円	87,263千円
実績	林地残材等の有効利用量	10,000 m <sup>3</sup>	10,000 m <sup>3</sup>	10,000 m <sup>3</sup>			30,000 m <sup>3</sup>
	他県の林地残材利用例視察件数	1件	1件	1件			3件
	新たな県産材利用件数	3件	3件	5件			11件
	事業費	23,321千円	23,013千円	17,366千円			64,700千円
	うち森林環境税	23,321千円	23,013千円	17,366千円			64,700千円
実施個所	県内	県内	県内				

## ② 公共施設木材利用推進事業

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行います。

### 1 ポイント

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材利用に対する理解を深めていきます。

### 2 事業内容

事業主体 公共建築物等木材利用促進法に基づく市町方針が策定済みの市町

#### (1) 木造公共施設整備事業

延床面積 200㎡以上の木造の公共施設の整備に対する補助。

補助率 建設単価が 200 千円/㎡を上回る場合に、200 千円と建設単価との差額の 1/2 以内を床面積当り 20 千円/㎡を上限として補助

補助金の上限 8,000 千円/施設

#### (2) 公共施設内装木質化事業

既設又は建築基準法等の基準で木造化不可能な新設の非木造施設の内装（床・壁等）に地域材を使用した場合の木工事費に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 5,000 千円/施設

#### (3) 木製屋外施設整備事業

公共施設における木製屋外施設（外構施設、木製遊具、学校関連施設等）の整備に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

#### (4) 小規模木造施設整備事業

延床面積 200㎡未満の小規模な木造の公共建築物の整備に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

#### (5) 木の机等整備事業

幼稚園や小中学校及び児童福祉施設等における木の机・椅子等の導入に対する補助

補助率 木の机・椅子 1組の経費の 1/2 以内 補助金の上限 11 千円/組

※（1）は地域材使用率 80%以上、（2）～（5）は地域材使用率 100%とする。

地域材とは、地域において製材・加工または流通するスギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツとする。

### 3 平成 29 年度実績額

(1) 実績額 26,225 千円

(2) 実施内容

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	木材使用量	補助金額
木造公共施設整備事業	四国中央市	中曽根公民館	木造 589.33 ㎡	97 ㎡	8,000 千円
	内子町	大瀬保育園	木造 608.28 ㎡	168 ㎡	8,000 千円
木製屋外施設整備事業	西予市	しろかわ保育所	木製遊具 2 基	3 ㎡	2,700 千円
小規模木造施設整備事業	松山市	中通りみんなの公園広場	木造四阿 1 基	3 ㎡	1,600 千円
	砥部町	砥部消防団第 7 分団詰所	木造 67.64 ㎡	68 ㎡	1,685 千円
	西予市	野村中学校部室	木造 160.0 ㎡	38 ㎡	3,000 千円
木の机等整備事業	内子町	立川小学校	木の机・椅子 45 組	2 ㎡	495 千円
計		7 施設		379 ㎡	25,480 千円

## 木をつかう活動

### (3) 実施状況



大瀬保育園屋内



しろかわ保育所遊具

## 4 事業期間 平成27年度 ～ 平成31年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	整備する施設数	4	10	10	10	10	44
	事業費	22,268千円	24,911千円	26,788千円	38,788千円	38,788千円	151,543千円
	うち森林環境税	22,268千円	24,911千円	26,788千円	38,788千円	38,788千円	151,543千円
実績	整備する施設数	10	4	7			21
	木材使用量	276m <sup>3</sup>	852m <sup>3</sup>	379m <sup>3</sup>			1,507m <sup>3</sup>
	事業費	20,136千円	24,791千円	26,225千円	千円	千円	71,152千円
	うち森林環境税	20,136千円	24,791千円	26,225千円	千円	千円	71,152千円
実施箇所	木造公共施設整備 陶街道ゆとり公園 武道場(砥部町) 木製屋外施設整備 八幡浜みなと 木製ベンチ(八幡 浜市) 小規模木造施設整備 丹原小学校 屋外 便所(西条市) 鴨川公園四阿(松 山市) 井口集会所(東温 市) 木の机等整備事業 近永小学校 他4 校(鬼北町)	木造公共施設整備 新宮小中学校(四 国中央市) 大瀬小学校(内子 町) 小規模木造施設整備 来住公園四阿(松 山市) 吉久集会所(東温 市)	木造公共施設整備 中曾根公民館 (四国中央市) 大瀬保育園 (内子町) 木製屋外施設整備 しろかわ保育所 (西予市) 小規模木造施設整備 中通りみんなの公 園広場四阿(松山 市) 砥部消防団第七分 団詰所(砥部町) 野村中学校部室( 西予市) 木の机等整備事業 立川小学校(内子 町)				

## 県立学校校舎等整備事業

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

### 1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されている中、生徒の安全確保を図るため、旧耐震基準で建築された校舎等を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進めます。

3階建て以上のものはRC造としますが、内装の木質化を図ります。

### 2 事業内容

学校名	施設名	整備概要		
		(改築)		
新居浜商業高校	本館	RC造3階	1, 928㎡	(予定) 内装木質化
松山北高校	特別教棟	RC造4階	2, 515㎡	(予定) 内装木質化
松山工業高校	本館	RC造4階	2, 623㎡	(予定) 内装木質化
松山商業高校	体育館	RC造3階	2, 908㎡	(予定) 一部木造
東温高校	普通教棟	RC造4階	2, 860㎡	(予定) 内装木質化
宇和島水産高校	特別教棟	RC造3階	949㎡	(予定) 内装木質化
三島高校	武道場	RC造2階	861㎡	(予定) 一部木造
川之江高校	武道場	RC造2階	990㎡	(予定) 一部木造
内子高校	部室	W造2階	199㎡	(予定) CLT活用

### 3 平成29年度実績

(1) 実施額 72,000千円 (平成29年度事業費 4,098,212千円)

(2) 実施状況

新居浜商業高校本館	: 平成30年3月完成
松山北高校特別教棟	: 平成30年3月完成
松山工業高校本館	: 平成30年3月完成
松山商業高校体育館	: 平成30年3月完成
東温高校普通教棟	: 平成30年3月完成
宇和島水産高校特別教棟	: 平成30年3月完成
三島高校武道場	: 平成30年3月完成
川之江高校武道場	: 平成30年3月完成
内子高校部室	: 平成30年3月完成

### 4 事業期間

平成27年度 ～ 平成31年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	3,830人	5,030人	6,230人	7,430人	8,630人	31,150人
	事業費	2,509,485千円	2,418,562千円	4,947,743千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	40,000千円	56,000千円	64,000千円	千円	千円	千円
実績	ふれあう人数	3,502人	3,527人	6,481人			
	事業費	1,627,842千円	986,088千円	4,098,212千円			
	うち森林環境税	40,000千円	56,000千円	72,000千円			
実施箇所		(校舎) しげのぶ、みなら (体育館) 今治西 (武道場) 今治北、松山工業	(校舎) 長浜、吉田 (体育館) 弓削、上浮穴、小田 (武道場) 今治西、宇和島東	(校舎) 新居浜商業 松山北、松山工業、東温、宇和島水産 (体育館) 松山商業 (武道場) 三島 川之江 (部室) 内子			

#### ④ 自然公園等施設整備事業

県内の自然公園において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵などの公園利用施設を整備します。

##### 1 ポイント

自然公園（瀬戸内海国立公園、県立自然公園）において、県内産木材を使用した公園利用施設を整備することにより、利用者の安全性・利便性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を図り、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

##### 2 事業内容

自然公園等において、間伐材を用いた標識等の施設を整備する。

○事業主体 県（自然保護課）

公園名	箇所名	市町名	整備内容
瀬戸内海国立公園	金山出石寺	大洲市	門標
瀬戸内海国立公園	青島	大洲市	門標
四国カルスト県立自然公園	獅子越峠、小田深山溪谷	内子町	門標

##### 3 平成29年度実績額 4,482千円



【門標（瀬戸内海国立公園）[大洲市]】



【門標（四国カルスト県立自然公園）[内子町]】



## 木をつかう活動

### 4 事業期間 平成27年度 ～ 平成31年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	木材使用量	5 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup>
	事業費	5,079 千円	7,362 千円	5,600 千円	5,600 千円	5,600 千円	27,479千円
	うち森林環境税	4,571 千円	4,600 千円	4,600 千円	4,600 千円	4,600 千円	22,971千円
実績	木材使用量	6 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup>	3 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	事業費	5,068 千円	7,362 千円	4,741 千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	4,560 千円	4,600 千円	4,482 千円	千円	千円	千円
実施箇所		足摺宇和海国立公園 石鎚国立公園 四国のみち（上黒岩遺跡休憩所）	足摺宇和海国立公園 県立自然公園	瀬戸内海国立公園 県立自然公園	県立自然公園 四国のみち	瀬戸内海国立公園 県立自然公園 四国のみち	

## ⑤木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

### 1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※県管理の都市公園

県営総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

### 2 事業内容

○ 事業箇所 県営総合運動公園  
(松山市上野町他)

○ 施設概要 木製東屋 1式

○ 整備効果 県営総合運動公園は、平成29年に開催されるえひめ国体において総合開閉会式及び4競技が行われることから、多くの利用が見込まれるため、園内に木製の東屋を整備することにより、憩いの安らぎの空間が創造され、利用者へのサービス向上、公園のイメージアップとなる。

さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した施設を設置することは、木材に対する理解や関心を深めることになる。

### 3 平成29年度実績

(1) 実施額 5,000千円

(2) 実施内容

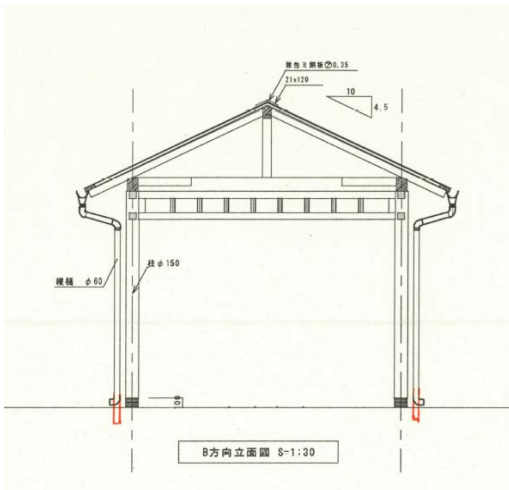
公園名・地区名	事業主体	事業内容	事業費	備考
県営総合運動公園	愛媛県	木製東屋1式(1棟)	5,000千円	
計			5,000千円	

# 木をつかう活動

## (3) 実施状況



施行箇所（施行前）



完成



完成

## 4 事業期間 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

## 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	55,000人	55,000人	55,000人	99,000人	99,000人	363,000人
	事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	3,000千円	5,000千円	23,000千円
	うち森林環境税	5,000千円	5,000千円	5,000千円	3,000千円	5,000千円	23,000千円
実績	ふれあう人数	67,300人	69,100人	77,100人	人	人	人
	事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	5,000千円	5,000千円	5,000千円	千円	千円	千円
実施箇所	県営総合運動公園 (園路) 木製公園施設1式 (東屋2棟)	県営総合運動公園 (キャンプ場) 木製公園施設1式 (東屋1棟、テーブル 等1式)	県営総合運動公園 (テニスコート) 木製公園施設1式 (東屋1棟)	とべ動物園 (入口ゲート付近) 木製公園施設1式 (東屋2棟)	県営総合運動公園 (園路) 木製公園施設1式 (東屋2棟)		

## ⑥ えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、新たな構造材の開発・普及を進めます。

### 1 ポイント

木材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や良質な県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォームを支援し、住宅等における県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

### 2 事業内容

#### (1) 木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅や木材利用全般に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援します。

- ①相談窓口の設置（常設）      ②研修会等の開催（設計・施工者向け）      ③出前木材利用相談窓口
- ④見学会の開催（消費者向け）      ⑤住宅関係の情報発信（イベント出展、HP等）      ⑥木をつかう教育等の促進

#### (2) えひめ材の家づくり促進支援事業

住宅を建設する施主に対して、県産柱材を無償提供します。

○提供柱材      1棟当たり64本以内（147千円/棟）、支援棟数300棟

#### (3) 住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

○支援内容      住宅等1件当たり100,000円（下限）～140,000円（上限）、支援棟数100棟

### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 68,100千円

#### (2) 実施内容

○木と暮らしの相談窓口の開設

相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、祝日）

木造住宅に関する専門相談

○えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材64本を無償提供（343棟）

○住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援（76棟）

## 木をつかう活動

### (3) 実施状況



えひめ材の家づくり促進支援事業



えひめ材の家づくり促進支援事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業

## 4 事業期間

平成27年度～平成31年度

## 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	相談窓口相談件数	600	600	600	600	600	3,000
	柱材提供件数	300	300	300	300	300	1,500
	住宅等リフォーム木材利用件数	100	100	100	100	100	500
	事業費	76,511千円	79,271千円	68,150千円	68,150千円	68,150千円	360,232千円
	うち森林環境税	76,511千円	79,271千円	68,150千円	68,150千円	68,150千円	360,232千円
実績	相談窓口相談件数	582	688	732			2,002
	柱材提供件数	337	336	343			1,016
	住宅等リフォーム木材利用件数	50	73	76			199
	事業費	76,459千円	79,240千円	68,100千円	千円	千円	223,799千円
	うち森林環境税	76,459千円	79,240千円	68,100千円	千円	千円	223,799千円
実施箇所	県内	県内	県内				

### ⑦原木乾しいたけ等生産促進事業

県産原木乾しいたけの消費拡大と認知度向上を図るため、普及啓発や販路拡大に取り組むとともに、生産量確保と品質向上を図るため、生産基盤の強化と生産者の育成を行い、県産原木乾しいたけの生産振興による山村地域の活性化と広葉樹林の整備・資源の有効活用を促進します。

#### 1 ポイント

トレーサビリティを活用した安全・安心な「愛媛県産」原木乾しいたけの普及啓発や販路開拓を行い、消費拡大と認知度向上に取り組めます。

また、生産基盤の強化と生産者の育成を図るため、原木の導入経費や、生産・加工施設の整備に要する経費、生産技術等に関する講習会の開催経費に対し支援を行います。

#### 2 事業内容

(1) 原木乾しいたけ消費拡大等支援事業	普及啓発、料理コンテストの開催などの活動、幼稚園や小学校を対象とする食育活動に対する支援。
(2) 原木しいたけ生産者育成対策事業	原木しいたけの持続的な産地育成を目的とし、新規生産者の発掘をするとともに、育成者のターゲットを絞り、集中的かつ継続的な指導を実施に対する支援。
(3) 原木しいたけ等生産基盤強化事業	<p>○原木生産拡大支援事業 新植ほだ木を 1,000 本以上新規生産又は拡大生産する生産者に対する支援。 ・新植ほだ木 10 本当たり 500 円以内</p> <p>○原木しいたけ等生産・加工施設整備支援事業 原木生産拡大支援事業の助成を受ける生産者、過去 3 年間のほだ木更新の平均本数が 2,000 本/年以上である生産者又は森林組合（生産者が共同利用できる施設に限る。）が原木乾しいたけ等の施設整備を行う場合に要する経費の支援。 ・生産・加工施設整備に係る経費の 1/3 以内 (補助金上限額 生産者：250 千円、森林組合：1,250 千円)</p>

#### 3 平成 29 年度実績

(1) 実績額 21,164 千円

(2) 実施状況

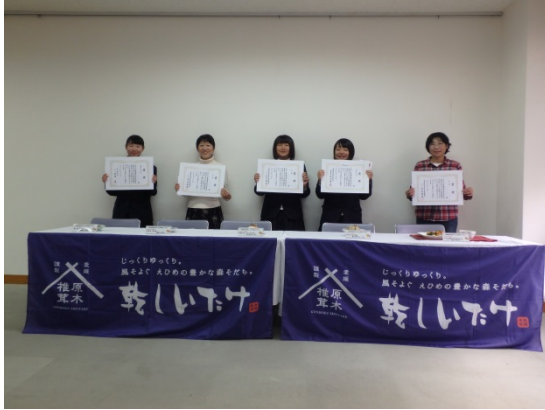


消費宣伝活動



普及啓発活動

## 木をつかう活動



料理コンテストの開催



原木しいたけ生産者の育成

### 4 事業期間 平成27年度～平成31年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	250人	250人	250人	150人	150人	1,050人
	木材使用量	2,300m <sup>3</sup>	2,300m <sup>3</sup>	2,300m <sup>3</sup>	2,300m <sup>3</sup>	2,300m <sup>3</sup>	11,500m <sup>3</sup>
	事業費	23,706千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	109,862千円
	うち森林環境税	23,706千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	109,862千円
実績	ふれあう人数	191人	205人	130人			526人
	木材使用量	2,000m <sup>3</sup>	1,300 m <sup>3</sup>	1,450 m <sup>3</sup>			4,750m <sup>3</sup>
	事業費	23,564千円	21,499千円	21,164千円	千円	千円	66,226千円
	うち森林環境税	23,564千円	21,499千円	21,164千円	千円	千円	66,226千円
実施箇所	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域		

## ⑧ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓に対して支援を行い、県産材やCLTの需要拡大を通じ、林業経営の安定と森林整備を推進します。

### 1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における愛媛県産材やCLTの販路拡大を支援するとともに、有力な木材需用者に対する知事トップセールスやマッチング商談会を実施し、県産材の需要拡大を促進します。

### 2 事業内容

#### (1) 販売体制整備事業【市場開拓協議会 実施事業】

- 3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー等に対するセールス等の実施
- 県産材製品の共同出荷・販売の体制整備

#### (2) 愛媛県産材販売促進事業【事業主体：愛媛県(一部委託(愛媛県産材製品市場開拓協議会))】

- 首都圏の大手商社、住宅メーカー等を対象にマッチング商談会を実施するとともに、展示会等への出展により、効率的に商談機会を創出するとともに、有力木材需用者への知事トップセールスを実施するなど、県産材製品の販路開拓を実施します。

### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 6,522千円

(2) 実施内容

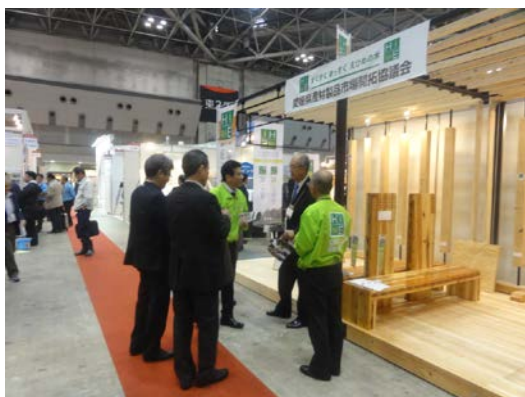
#### ○販売体制整備事業

- ・大手商社・プレカット工事等に対する営業活動に支援し、新たな販路拡大を行った。

#### ○愛媛県産材販売促進事業

- ・愛媛県産材のPRのため、首都圏等大消費地で開催される展示会に出展  
  ジャパンホームショー(H29.11.15~17)  
  東京WOODコレクション(H30.1.30~31)
- ・県内外において県産材マッチング商談会を実施  
  県外展示会(ジャパンホームショー、東京WOODコレクション)において、展示スペースと併せて商談スペースを設置し、商談会を実施した。

(3) 実施状況



ジャパンホームショーでの県産材のPR



東京WOODコレクションでの商談



木をつかう活動

4 事業期間

平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	県産材マッチング商談会の実施	3回	3回	3回	3回	3回	15回
	建材関係展示会への出展	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	森林認証の普及啓発活動	3回	—	—	—	—	3回
	事業費	7,356千円	7,356千円	6,706千円	6,706千円	6,706千円	34,830千円
	うち森林環境税	7,356千円	7,356千円	6,706千円	6,706千円	6,706千円	34,830千円
実績	県産材マッチング商談会の実施	4回	4回	2回			11回
	建材関係展示会への出展	2回	3回	2回			7回
	森林認証の普及啓発活動	3回	—	—			3回
	木材販売量	24,871m <sup>3</sup>	34,127m <sup>3</sup>	34,417m <sup>3</sup>			93,415m <sup>3</sup>
	事業費	5,560千円	6,797千円	6,522千円			18,879千円
	うち森林環境税	5,560千円	6,797千円	6,522千円			18,879千円

⑨ 駐在所等庁舎整備費

人と環境にやさしい自然素材である木材を使用して、地域の治安環境を確保するため、老朽・狭隘化した交番を新築整備します。

1 ポイント

交番・駐在所は、地域の治安環境を確保することが必要不可欠であることから、警察事象の複雑化、多様化に対応できるよう、老朽・狭隘化が著しい施設の整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることにより地域住民に気軽に利用される施設を目指します。

2 事業内容

名称	施設名	整備概要
宇和島警察署 駅前交番	交番庁舎	(新築) 木造2階建 85.55㎡ 事務室、相談室、OA室、仮眠室ほか



3 平成29年度実績額 3,000千円 (全体事業費 36,002千円)

4 事業期間 平成29年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	800人	該当無し	1,800人			
	事業費	37,594千円		40,989千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	3,000千円		3,000千円	千円	千円	千円
実績	ふれあう人数	800人		1,800人			
	事業費	33,765千円		36,002千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	3,000千円		3,000千円	千円	千円	千円
実施箇所		西予警察署 俵津駐在所		宇和島警察署 駅前交番			

## ⑩ 県産CLT普及促進事業

本県が全国に先駆けて普及を図っているCLT(直交集成板)について、平成30年4月に県内でCLTの生産が開始されることから、県産CLTを使用した建築物が一般的に建築されるよう、設計・建築関係の実務者や一般県民への普及・PRを推進し、CLT利用を促進します。

### 1 ポイント

愛媛県CLT普及協議会と連携して、CLT建築物の普及を図るとともに、CLT製造に適した原木の安定供給のため、原木の強度選別について研究するほか、県民に対する普及啓発活動を実施します。

### 2 事業内容

(1) CLT建築物建設促進事業 6,750千円(事業主体 県(委託先:愛媛県CLT普及協議会))

平成28年3・4月に建築基準法においてCLTの基準強度等が制定され、一般的な実施設計が可能となったことから、汎用性のあるCLT建築物(コンビニなど小規模店舗を想定)の普及促進を図ります。

また、既存のCLT建築物等を活用した普及・PRを実施します。

(2) 新たなCLT利用促進事業 1,500千円(補助事業)

民間事業者等からCLTの利活用に関する様々なアイデアを募集し、その建設や作成等に対して支援することで、県内にCLT構造物を増やし、一般県民にPRすることでCLTの需要拡大を図ります。

(3) 原材料安定供給促進事業 373千円(事業主体 県)

CLTの製造に適した強度の原木を安定的に確保・供給するため、ラミナ加工前の原木段階で強度選別することにより、強度性能に適した製品に加工する生産システムを実証し、CLTの効率的な生産システムの構築を目指します。

(4) 普及促進事業 666千円(事業主体 県)

CLT加工施設の導入や建築物の建設に向けて先進事例を調査するとともに、各種イベントにおいて、CLTの利点や活用事例などを紹介することにより、県内でのCLT利用を普及・促進します。

### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 2,967千円

(2) 実施内容

○CLT建築物建設促進事業

CLTの使用事例を紹介するため、CLT建築物(汎用性のある小規模店舗を想定)の計画書を作成し、普及・PR活動を行うとともに、CLT建築物を活用した見学会を行った。

○新たなCLT利用促進事業

民間事業者等からCLTの利活用に関する様々なアイデアを募集し、その設置や作成等に対して以下の通り支援しました。

事業主体	内 容
新日本建設(株)	CLTストックハウスの設置
愛媛県CLT普及協議会	CLTベンチの設置
三王ハウジング(株)	CLTモニュメント看板の設置
東予東部地区林材業振興会議	CLTスツールの設置

○原料安定供給促進事業

ラミナ加工前の原木の強度別。

○普及促進事業

## 木をつかう活動

各種イベント等において、CLTの利点や活用事例などを紹介し、普及啓発に努めるとともに、日本CLT協会が実施する研修会等を通じて、CLT施設や建物に関する先進事例に関する情報収集を行いました。

### (3) 実施状況



CLTセミナー



CLT建築物完成見学会



CLTストックハウス



CLTモニュメント看板

## 4 事業期間

平成27年度～平成29年度

## 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	構造計画書の作成等	1式	1式	1式			1式
	試験の実施	1式	1式	1式			1式
	事業費	5,353千円	7,906千円	9,289千円			22,548千円
	うち森林環境税	5,353千円	7,906千円	9,289千円			22,548千円
実績	構造計画書の作成等	1式	1式	1式			1式
	試験の実施	1式	1式	1式			1式
	事業費	4,163千円	7,377千円	2,967千円			14,507千円
	うち森林環境税	4,163千円	7,377千円	2,967千円			14,507千円
実施箇所		県内	県内	県内			

⑪ 乾たけのこ産地育成事業(乾たけのこ生産拡大緊急対策事業)

乾たけのこの計画的な生産や効率の向上による生産量の確保・増産を支援し、産地の育成と農林家の所得向上、農山村地域の活性化に取り組みます。

1 ポイント

乾たけのこ生産は、放置竹林対策や雇用の拡大にもつながることから、市町や森林組合、生産者等で組織する乾たけのこ生産拡大連絡協議会と連携した、生産者の育成や生産方法の普及等に加え、地域における特色ある取組を推進するため、地域課題の解決や情報の交換・共有を行います。

また、計画的な生産や効率の向上による生産量の確保・増産のため、生産計画やデータベースの作成、作業道開設、生産・加工機材の整備を支援するとともに、省力・効率的な竹林整備モデルを普及するため、生産竹林の伐採方法等について比較・検証を行います。

2 事業内容

(1) 乾たけのこ生産拡大普及促進事業	○乾たけのこ生産拡大連絡協議会との連携 ○地域ごとの特色ある取組の推進
(2) 乾たけのこ生産基盤整備事業	○生産計画の作成 竹林の幹旋及び生産計画作成への支援 ○データベースの作成 採取可能竹林の現地調査、採取・乾燥協力者の把握、収集した内容のデータベース化への支援 ○基盤整備 作業道開設への支援 ○生産・加工機材 湯がき機材等の整備への支援
(3) 乾たけのこ生産竹林実証事業	生産者自らが実施できる竹林整備モデルの実証

3 平成 29 年度実績

- (1) 実績額 2, 233千円
- (2) 実施状況



乾たけのこ基盤整備状況

木をつかう活動

4 事業期間 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	乾たけのこ生産面積	100ha	200ha	300ha	350ha	400ha	400ha
	事業費	5,744 千円	7,650 千円	6,000 千円	6,300 千円	6,300 千円	31,994 千円
	うち森林環境税	5,744 千円	7,650 千円	6,000 千円	6,300 千円	6,300 千円	31,994 千円
実績	乾たけのこ生産面積	184ha	250ha	265ha	ha	ha	265ha
	事業費	4,380 千円	6,291 千円	2,233 千円	千円	千円	12,904 千円
	うち森林環境税	4,380 千円	6,291 千円	2,233 千円	千円	千円	12,904 千円
実施箇所		県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域

### ① 県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の森林を利活用する活動の支援や、「えひめ山の日の集い」などによる森林との交流を進めます。

#### 1 ポイント

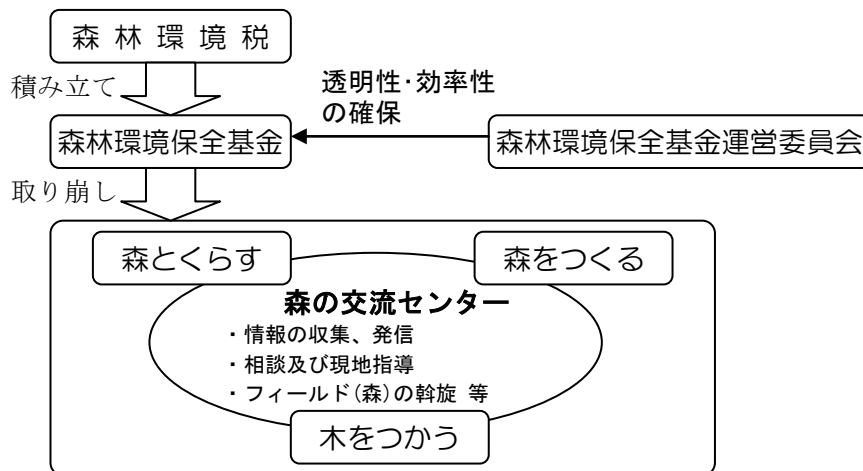
森林の利活用促進を図るため、愛媛県森の交流センターを拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行い、県民の森林を利活用する活動への参加に向け関心を喚起します。

また、平成 16 年 11 月に制定した「えひめ山の日」を普及するため、「えひめ山の日の集い」を開催します。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催し、事業の調査・審議を行います。

また、森林環境税の見直しに向けた県民意見交換会を各地方局単位で開催するとともに、アンケート調査を実施します。

#### 2 事業イメージ



#### 3 平成 29 年度実績

(1) 実績額 11,113 千円

#### (2) 事業内容

(1) 県民と森との交流促進	愛媛県森の交流センターの運営 ・森林の利活用に関する情報の収集と発信 ・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・森林利活用活動のためのフィールド(森)の斡旋 等
(2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	【委員会の概要】 森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、委員 10 名からなる愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催。
(3) 森林環境税啓発事業	森林環境税の制度内容及び実施事業について、広く県民に普及啓発するため、新聞への広告掲載や普及啓発冊子等を作成し配布。
(4) 「えひめ山の日の集い」開催事業	「えひめ山の日」を普及するシンボル事業として、エミフル MASAKI にて「えひめ山を守る、ちょっとした木づかい」をテーマに「えひめ山の日の集い」を開催。

## 森とくらす活動

### (3) 実施状況

#### ① 愛媛県森の交流センターの運営（東温市田窪、平成17年度設置）

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループ等の人的交流や情報の発信を行うとともに、森林・林業等に関わる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として設置した施設であり、以下の業務を行いました。

#### [業務内容]

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や県等が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森林づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

#### ② 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営

任 期：平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年間）

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

委員会開催(H29.6.26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 森林環境保全基金事業の実績について</li> <li>・H29 森林環境保全基金県指定事業について</li> </ul>
委員会開催(H30.3.23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 森林環境保全基金事業の実施状況について</li> <li>・H30 森林環境保全基金県指定事業について</li> <li>・H30 森林環境保全基金公募事業の審査について</li> </ul>

#### ③ 森林環境税啓発事業

新聞広告等掲載事業

森林環境税の用途を広く県民にPRするため、森林環境税活用事業の取り組み状況について新聞広告を2回掲載するとともに、普及啓発用冊子を作成しました。

#### ④ 「えひめ山の日の集い」関連行事の開催

開催日：平成29年11月11日（土）

##### ア 森林散策

面河溪谷にて、えひめ森林管理署、森の案内人会、面河溪谷を愛する会を講師に迎え散策を楽しみました。

##### イ 式典・式典併催行事

「愛媛の山を守る、ちょっとした木づかい」をテーマに、表彰や記念行事を盛大に開催しトークショーやワークショップを開催することで県民に分かり易い形で、森林と林業について触れて頂きました。併催行事として木のおもちゃ広場や林業機械シュミレーション機を設置し、木に触れて、林業を体験する機会を提供しました。

場所：エミフル MASAKI

時間	式典（グリーンコート）		式典併催行事（フローラルゲート7）
10：00	式典		
	表彰	C02 吸収証書、緑の募金感謝状	
10：45	記念行事	○木づかいトークショー （古川大輔氏、原裕美子氏、森下加奈代氏）	
		○えひめの樹木アロマワークショップ（原裕美子氏）	
		○木製打楽器をつくろう（井部健太郎氏）	
13：30		○キッサコフリーライブ	
15：00	閉会		





森林散策



式典



木のおもちゃ広場

4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	森の交流センター 相談件数	2,000 件	2,000 件	2,000 件	2,000 件	2,000 件	10,000 件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	500 人	500 人	500 人	500 人	500 人	2,500 人
	事業費	13,040 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	66,480 千円
	うち森林環境税	13,040 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	66,480 千円
実績	森の交流センター 相談件数	1,555件	1,512 件	1,495 件	件	件	件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	671人	2,150人	2,299人	人	人	人
	事業費	11,845千円	11,681千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	11,845千円	11,681千円	千円	千円	千円	千円

## ②自然観察会開催事業

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

### 1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図ります。

### 2 事業内容

- 対象 県内在住の小・中学生及びその保護者等
- 事業主体 愛媛県（自然保護課）
- 事業内容 森林機能や保全取組等の学習会、植樹体験、野鳥などの生き物観察 など
- 実施方法 県（生物多様性センター）が実施

### 3 平成 29 年度実績見込み額 1,655 千円（全体事業費 1,655 千円）

番号	観察会概要	実施日	事業場所	参加人数
1	水田生物・植物観察会	平成 29 年 4 月 16 日	愛南町	20
2	棚田の昆虫観察会	平成 29 年 4 月 29 日	内子町石畳	18
3	ハッチョウトンボ・カミサシヨウウチ観察会	平成 29 年 5 月 27 日	西条市・今治市	25
4	干潟の生き物観察会	平成 29 年 5 月 28 日	愛南町	23
5	水田周辺の生物観察会	平成 29 年 7 月 1 日	今治市大三島	34
6	水田周辺の生物観察会	平成 29 年 7 月 12 日	西予市石城	20
7	干潟の生物観察会	平成 29 年 7 月 16 日	愛南町須ノ川公園	40
8	水田周辺の生き物観察会	平成 29 年 7 月 29 日	今治市大三島	38
9	田んぼのカエル観察会	平成 29 年 8 月 2 日	松山市北条	18
10	水田周辺の生き物観察会	平成 29 年 8 月 3 日	新居浜市	37
11	中山川周辺の生き物観察会	平成 29 年 8 月 5 日	西条市中川	32
12	田んぼのトンボ観察会	平成 29 年 8 月 9 日	松山市北条	21
13	松山城ライトトラップ昆虫観察	平成 29 年 8 月 11 日	松山市	45
14	織田が浜の植物・昆虫観察会	平成 29 年 9 月 27 日	今治市織田が浜	130
15	八幡浜魚類観察会	平成 29 年 12 月 10 日	八幡浜	26
	参加人数 計	開催回数 15 回		527

## 森とくらす活動



### 4 事業期間 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	参加人数	405人	405人	405人	405人	405人	2,025人
	事業費	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	8,645千円
	うち森林環境税	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	8,645千円
実績	参加人数	491人	322人	527人			
	事業費	830千円	1,425千円	1,655千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	830千円	1,425千円	1,655千円	千円	千円	千円
実施箇所		松山市(県衛生環境研究所)、今治市(大三島町)、宇和島市(蔭淵地区)、愛南町(一本松地区他)	松山市(城山公園)、今治市(大三島町)、宇和島市(津島町)、愛南町(御荘湾他)	松山市(松山城、北条)、今治市(大三島町、織田ヶ浜)、宇和島市(津島町)、新居浜市、(中川)、西条市(庄内)内子町(石畳)、愛南町(須ノ川公園)			

### ③ 森とのふれあい活動促進事業

森林づくりを行う青少年や県民の皆様の活動を支援し、森とのふれあい活動を促進します。また、手軽に森林ボランティアなどの活動に参加できるように、フィールドとなる森を整備し、活用場として提供します。

#### 1 ポイント

森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくために、各世代における森林づくり活動をサポートし、継続的な森林環境保全意識の醸成を行います。

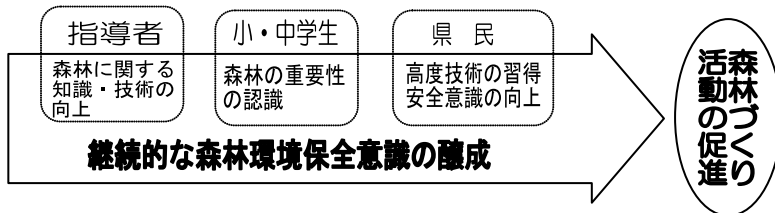
まず、小・中学生の指導にあたる教・職員に対し、森林に関する知識及び体験活動等の技術の向上を図る研修を実施するとともに、学校等の要望に応じ林業教室を実施するほか、技術的支援を実施します。

また、すでに森林保全意識をもって森林づくり活動を実施している県民には、より一層の技術や安全意識の向上を図るため、安全技術研修及び交流研修会を実施します。

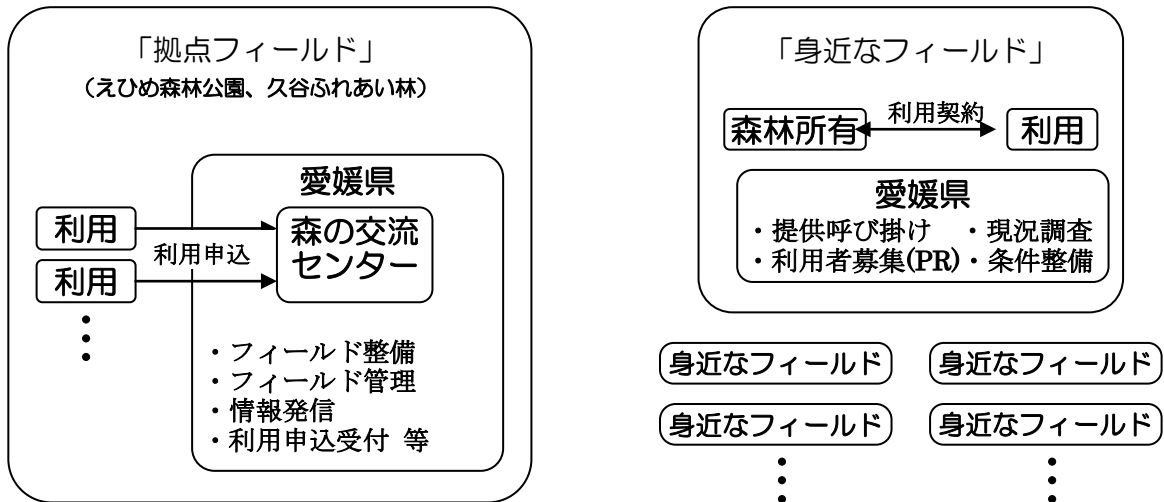
加えて、県民が手軽に、また身近に活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

#### 2 事業内容

##### (1) 事業イメージ[活動支援]



##### (2) 事業イメージ[フィールド設置・提供]



森とくらす活動

3 平成29年度実績

(1) 実績額 15,544千円

(2) 事業内容

①森林づくり県民活動推進事業	一般県民の育成：・森林づくり活動や森とふれあう活動を行うグループの技術交流研修会の実施
②森林愛護活動推進事業	小・中学校等の教・職員を対象に、森林・林業や自然体験学習に関する研修を実施。各地域で森林・林業教室の開催及びその技術的支援を実施。
③県民参加の森林づくり事業	森林所有者へフィールドの提供を呼びかけ、候補地についての現況調査や提供可能なフィールドの情報を発信するとともに、森林づくり活動を側面から支援するために、作業道の開設や林内整備を実施。 また、森林ボランティア団体等が安全で手軽にボランティアを実施できるよう、森林ボランティア活動機械等を整備。
④企業の森づくり促進支援事業	企業によるCSR活動としての森林づくり活動を支援するために、フィールド設定のための現地調査を実施。

(3) 実施状況

① 森林づくり県民活動推進事業(一般県民の育成)

○森づくり技術交流会

えひめ森林ボランティア連絡協議会等、県内で森林ボランティア活動を行っている団体・個人等20名が、愛媛大学演習林に於いて技術交流会に参加し、技術の向上を図りました。



チェーンソーの研修

日程	内容
平成30年 2月4日(日) 2月11日(日)	(講義)チェーンソー、刈り払い機の安全な使い方について、安全な森づくり活動について (技術講習)チェーンソー、刈り払い機の安全な使い方ほか

②森林愛護活動推進事業

ア 青少年指導者育成事業

小・中学生の森林環境教育の指導にあたる教・職員を対象に研修を行い、座学と実技を通じて指導方法の習得を図りました。



今治自然塾環境教育プログラム

日程	会場	参加人数	内容
平成29年 7月24日(月)	今治西部丘陵公園	13人	[座学]愛媛の森林・林業について、野外活動での安全について、森林の役割と地球温暖化について、
7月28日(金)	国立大洲青少年交流の家	13人	[実習]活動体験 南予会場：樹木を活用した自然観察会(さんきら自然塾) 今治会場：今治自然塾環境教育プログラム(今治自然塾)
	計	26人	

イ 少年自然愛護活動事業

県内各地において、小・中学校やその他団体等の要望に応じて、林業教室等を実施するほか、その技術的な支援をおこなった。

森とくらす活動

③県民参加の森林づくり事業

ア 県民参加の「身近なフィールド」提供事業

○拠点フィールド及び身近なフィールド

番号	登録年度	名称	所有者	所在地	面積 (ha)	樹種	「企業の森づくり」の名称
1	17	横谷山	市	松山市	0.60	ケヤキ、伐採跡地	
2	17	豊岡山	町	松野町	1.51	広葉樹(一部クスギ)	
3	17	横吹森林公園	団体	鬼北町	3.12	スギ、ヒノキ、マツ	
4	17	加茂川水源の森1	個人	西条市	0.49	スギ、ヒノキ(クスギ、ケヤキ)	
5	17	加茂川水源の森2	個人	西条市	2.60	スギ、ヒノキ(ケヤキ、ヤマザクラ)	
6	17	若山	市	八幡浜市	21.42	スギ、ヒノキ、その他広葉樹	
7	17	田処山	個人	大洲市	0.97	ヒノキ	
8	17	三滝溪谷林	市	西予市	0.16	ヒノキ	
9	17	ふくさの森	個人	東温市	1.87	スギ、ヒノキ、タケ、サカキ	
10	17	黒谷2号	県	西条市	5.63	ヒノキ、クスギ、マツ	伊予銀行エバ「グリーン」の森 (拠点フィールド)
11	17	久谷ふれあい林	県	松山市	12.77	スギ、ヒノキ	アサヒビル感謝の森 (拠点フィールド)
12	17	横谷	県	松山市	38.16	スギ、ヒノキ	愛媛銀行ecHoの森
13	17	松瀬川2号	県	東温市	77.86	スギ、ヒノキ	愛媛トヨレットの森
14	17	御稜1号	県	宇和島市	463.74	スギ、ヒノキ	伊予銀行エバ「グリーン」の森
15	17	御稜2号	県	宇和島市	0.80	ヒノキ	
16	17	県民参加の森	国(県)	伊予市他	52.83	スギ、ヒノキ、広葉樹	(拠点フィールド)
17	17	塩ヶ森ふるさと公園	市	東温市	1.23	モミジ、サクラ、ヒノキ	
18	17	黒岩山公園	市	宇和島市	1.05	ケヤキ等広葉樹	
19	17	深山	財産区	西予市	1.74	ヤマザクラ等広葉樹	
20	17	千疋山	市	今治市	0.98	モミジ等広葉樹	
21	18	龍王山	市	西条市	3.30	ヒノキ、ザツ	
22	18	小松山	市	西条市	2.40	ヒノキ、クスギ	
23	18	湯谷口山1	個人	西条市	0.17	竹	
24	18	湯谷口山2	個人	西条市	0.16	竹	
25	18	藤野山	個人	松山市	0.51	竹(モリガク)	
26	18	旧林業試験場山	県	東温市	2.58	スギ、ヒノキ、マツ	
27	19	奈良原山	団体	今治市	24.83	広葉樹	
28	19	長岡山公園	県	内子町	5.14	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
29	19	宅並山	団体	松山市	1.07	広葉樹	
30	19	今治共有山	市	今治市	177.08	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	今治市 太陽が育む森
31	19	宮内財産区	市	八幡浜市	113.47	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
32	19	西条市有林	市	西条市	49.78	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
33	20	森の交流センター	県	東温市	5.20	広葉樹、針葉樹	
34	20	大洲市有林	市	大洲市	12.04	広葉樹、針葉樹	伊予銀行エバ「グリーン」の森
35	20	今治市玉川町純川	市	今治市	244.88	広葉樹、針葉樹	ユープ えひめ未来の森
36	21	下川町	市	四国中央市	1.35	広葉樹(雑・草地)	
37	21	寒川山	個人	四国中央市	2.33	スギ、ヒノキ	
38	21	川滝町	個人	四国中央市	0.68	マダケ	
39	21	別子山	市	新居浜市	6.60	スギ、ヒノキ	
40	21	船木	団体	新居浜市	1.39	ヒノキ	
41	21	純川神子森奥	市	今治市	7.64	スギ、ヒノキ、その他広葉樹	
42	21	法界寺	団体	今治市	1.35	クスギ他	
43	21	久万1	町	久万高原町	0.38	サクラ	
44	21	久万2	町	久万高原町	4.46	イチヨウ他4種	
45	21	菅生1	町	久万高原町	0.63	ヤマザクラ他広葉樹	
46	21	菅生2	町	久万高原町	2.37	広葉樹	
47	21	東明神	町	久万高原町	1.02	スギ、トチ、ヤマザクラ、ケヤキ	
48	21	下畑野川	町	久万高原町	1.02	サクラ、モミジ	水と空気の愛の森
49	21	直瀬1	町	久万高原町	0.32	クスギ、コナラ、ケヤキ	
50	21	直瀬2	町	久万高原町	2.56	クスギ	
51	21	直瀬3	町	久万高原町	0.40	ヤマザクラ、イロハモミジ	水と空気の愛の森
52	21	中津	町	久万高原町	5.12	サクラ他広葉樹	
53	21	緑	町	愛南町	2.46	スギ、ヒノキ	
54	21	僧都1	町	愛南町	10.57	ヒノキ	
55	21	僧都2	町	愛南町	18.00	ヒノキ	
56	21	南川	市	西条市	44.87	ヒノキ、松、雑	
57	21	上灘	県	伊予市	21.21	スギ、ヒノキ、雑	
58	21	北只	市	大洲市	1.15	スギ、ヒノキ	
59	21	椎ノ森	市	大洲市	5.26	ヒノキ、竹、桜、雑	
60	21	中川	町	内子町	56.55	スギ、ヒノキ	
61	21	食場町	市	松山市	1.50	スギ、ヒノキ	
62	21	東温河之内	市	東温市	0.60	スギ	
63	21	砥部川登	町	砥部町	7.00	ケヤキ、ササキ等広葉樹10種	
64	21	青波町	個人	松山市	1.10	ヒノキ、クスギ他	
65	21	福見川町	個人	松山市	2.76	スギ、ヒノキ	
66	21	米野町	個人	松山市	2.00	スギ、ヒノキ	
67	22	菅生・久万	会社	久万高原町	2.31	ヒノキ、スギ、ケヤキ・ササキ	
68	22	直瀬(加藤)	個人	久万高原町	1.33	雑木・松・杉・ヒバ・竹	
69	22	中島(南)	個人	松山市	0.41	その他広葉樹	
70	24	玉川	個人	今治市	33.55	スギ、ヒノキ、雑	
					1,584.39		

森とくらす活動

イ 森林ボランティア活動機械等の整備

整備器具	数量	整備場所
鎌	6 本	中予地方局
チップソー替え刃	10 枚	
ヘルメット	30 個	八幡浜支局(大洲駐在)

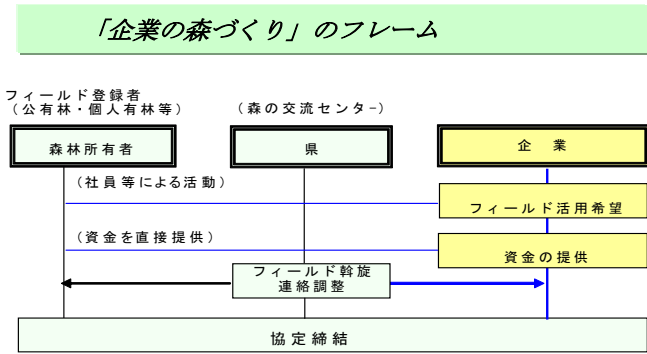
④企業の森づくり促進支援事業

※「企業の森づくり」森林づくり活動協定の実績

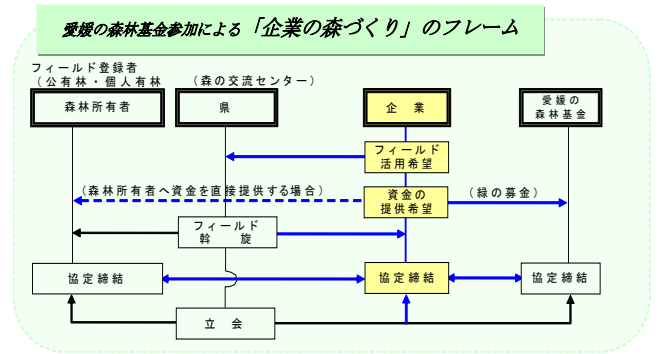
番号	企業名及び協定名	森林所有者・場所	協定締結者	協定期間
1	太陽石油(株) 「今治市 太陽が育む森」 1期(協定締結日 平成19年8月22日) 2期(協定締結日 平成22年3月25日) 3期(協定締結日 平成25年3月28日) 3期(協定締結日 平成30年3月29日)	今治市市有林 41.80ha	3者(タイプA) 太陽石油, 市, 県(斡旋)	3年間 1期 19年8月22日 ~22年3月31日 2期 22年4月1日 ~25年3月31日 5年間 3期 25年4月1日 ~30年3月31日 4期 30年4月1日 ~35年3月31日
2	アサヒビール(株) 1期「アサヒビール生命の森」 (協定締結日 平成20年3月10日) 2期「アサヒビール感謝の森」 (協定締結日 平成23年5月25日) 3期「アサヒビール感謝の森」 (協定締結日 平成26年3月27日)	1期 西条市市有林 49.78ha 2期 愛媛県 久谷ふれあい林 12.67ha 3期 西条市市有林 42.34ha	1期4者(タイプB) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 市, 県(斡旋) 2期3者(タイプA) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 県 3期4者(タイプB) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 市, 県(斡旋)	3年間 1期 20年3月10日 ~23年3月31日 2期 23年5月25日 ~26年3月31日 3期 26年4月1日 ~29年3月31日
3	(株)愛媛銀行 「愛媛銀行ecHoの森」 1期(協定締結日 平成20年3月10日) 2期(協定締結日 平成25年3月28日) 3期(協定締結日 平成30年3月29日)	愛媛県県有林横谷事業所 38.16ha	3者(タイプB) 愛媛銀行, 愛媛の森林基金, 県(森林所有者)	5年間 1期 20年4月1日 ~25年3月31日 2期 25年4月1日 ~30年3月31日 3期 30年4月1日 ~35年3月31日
4	(株)伊予銀行 「伊予銀行エバーグリーンの森」 1期(協定締結日 平成20年10月31日) 2期(協定締結日 平成25年3月28日) 3期(協定締結日 平成30年3月29日)	1期 愛媛県県有林松瀬川事業 所 7.63ha 大洲市市有林 7.62ha 2期・3期 愛媛県県有林黒谷、院内、 松瀬川事業所 25.46ha 大洲市市有林 7.62ha	4者(タイプB) 伊予銀行, 愛媛の森林基金, 市, 県(森林所有者)	5年間 1期 20年10月31日 ~25年3月31日 2期 25年4月1日 ~30年3月31日 3期 30年4月1日 ~35年3月31日
5	生活協同組合コープえひめ 「コープえひめ未来の森」 1期(協定締結日 平成21年3月25日) 2期(協定締結日 平成24年3月26日) 3期(協定締結日 平成27年3月30日)	今治市市有林 40.96ha	3者(タイプA) 生活協同組合コープえひめ, 市, 県(斡旋)	3年間 1期 21年3月25日 ~24年3月31日 2期 24年4月1日 ~27年3月31日 3期 27年4月1日 ~30年3月31日延長
6	(社)愛媛県空調衛生設備業協会 「水と空気の愛の森」 1期(協定締結日 平成23年10月18日) 2期(協定締結日 平成28年 3月 )	久万高原町 町有林 1.42ha	3者(タイプA) (社)愛媛県空調衛生設備業協会 町, 県(斡旋)	5年間 1期 23年10月18日 ~28年3月31日 2期 28年4月1日 ~32年3月31日
7	楽天株式会社 (協定名)「楽天の森」 (協定締結日 平成27年7月21日)	愛媛県県有林 久谷事業所 5.05ha	3者(タイプB) 楽天株式会社 愛媛の森林基金 県(森林所有者)	3年間 27年7月21日 ~30年3月31日

※「企業の森づくり」のフレーム

Aタイプ



Bタイプ



「愛媛銀行ecHoの森」  
「伊予銀行エバーグリーン」の森  
下刈り作業



4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計	
計画	研修等参加人数(人)	100人	100人	100人	100人	100人	500人	
	ボランティア人数	拠点フィールド*	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
		身近なフィールド*	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
	身近なフィールド*設置箇所数	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	25箇所	
	事業費(千円)	13,226	17,571	17,571	17,571	17,571	83,510	
うち森林環境税	13,226	17,571	17,571	17,571	17,571	83,510		
実績	研修等参加人数(人)	1,068人	956人	1,065人				
	ボランティア人数	拠点フィールド*	—	—	—			
		身近なフィールド*	393人	185人	146人			
	身近なフィールド*設置箇所数	0箇所	0箇所	0箇所				
	事業費(千円)	12,081	13,837	15,544				
うち森林環境税	12,081	13,837	15,544					



④林業普及指導事業（一部森林環境税事業）

林業躍進プロジェクトの成果を県下に普及するため、地域の林業関係者等が推進団地での取り組みを体験するとともに、普及用の広報誌を発行します。

1 ポイント

森林そ生推進団地の成果を普及し、そ生団地を県下全域に広げるために、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等が推進団地での取り組みを体験します。さらに、林業躍進プロジェクトの県全体への普及を目的とした情報誌を発行します。

2 事業内容

事業内容	各地区に設けられた推進団地で、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等に対し技術指導や施業効果を体験させ、森林 GIS 等の試験研究成果を活用した新たな団地設定に取り組むとともに、広くプロジェクトを普及するための情報誌を発行する。
事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
実施主体	県下 9 地区(各地方局森林林業課(森林林業振興班))
対象者実施回数	○推進団地体験：森林に関わる地域の構成員、森林整備担い手等 県下 9 地区、1 回 25 名、年間 2 回実施 計 400 名 ○情報誌発行：県下 9 地区、各 1,500 部 計 13,500 部
推進団地での事業内容	林業普及指導員が中心となって、集約施業団地の設定と施業の推進を指導し、団地内の不在村地主への普及啓発を行う。 また、県の技術研修で育成された技術者の情報交換会や集団技術者講習会を開催し、技術者相互の研鑽を図り、持続的な林業経営と県産材の安定供給体制を確立する。

3 平成 29 年度実績額

3, 799 千円 (全体事業費 10, 525 千円)

[広報誌]

④四国中央市における森林経営計画策定状況 (平成 30 年 3 月現在)

地区名	計画策定状況	計画策定年度
1 宇佐	策定済	平成27年度
2 宇佐	策定済	平成27年度
3 宇佐	策定済	平成27年度
4 宇佐	策定済	平成27年度
5 宇佐	策定済	平成27年度
6 宇佐	策定済	平成27年度
7 宇佐	策定済	平成27年度
8 宇佐	策定済	平成27年度
9 宇佐	策定済	平成27年度
10 宇佐	策定済	平成27年度
11 宇佐	策定済	平成27年度
12 宇佐	策定済	平成27年度
13 宇佐	策定済	平成27年度
14 宇佐	策定済	平成27年度
15 宇佐	策定済	平成27年度
16 宇佐	策定済	平成27年度
17 宇佐	策定済	平成27年度
18 宇佐	策定済	平成27年度
19 宇佐	策定済	平成27年度
20 宇佐	策定済	平成27年度
21 宇佐	策定済	平成27年度
22 宇佐	策定済	平成27年度
23 宇佐	策定済	平成27年度
24 宇佐	策定済	平成27年度
25 宇佐	策定済	平成27年度
26 宇佐	策定済	平成27年度
27 宇佐	策定済	平成27年度
28 宇佐	策定済	平成27年度
29 宇佐	策定済	平成27年度
30 宇佐	策定済	平成27年度
31 宇佐	策定済	平成27年度
32 宇佐	策定済	平成27年度
33 宇佐	策定済	平成27年度
34 宇佐	策定済	平成27年度
35 宇佐	策定済	平成27年度
36 宇佐	策定済	平成27年度
37 宇佐	策定済	平成27年度
38 宇佐	策定済	平成27年度
39 宇佐	策定済	平成27年度
40 宇佐	策定済	平成27年度
41 宇佐	策定済	平成27年度
42 宇佐	策定済	平成27年度
43 宇佐	策定済	平成27年度
44 宇佐	策定済	平成27年度
45 宇佐	策定済	平成27年度
46 宇佐	策定済	平成27年度
47 宇佐	策定済	平成27年度
48 宇佐	策定済	平成27年度
49 宇佐	策定済	平成27年度
50 宇佐	策定済	平成27年度
51 宇佐	策定済	平成27年度
52 宇佐	策定済	平成27年度
53 宇佐	策定済	平成27年度
54 宇佐	策定済	平成27年度
55 宇佐	策定済	平成27年度
56 宇佐	策定済	平成27年度
57 宇佐	策定済	平成27年度
58 宇佐	策定済	平成27年度
59 宇佐	策定済	平成27年度
60 宇佐	策定済	平成27年度
61 宇佐	策定済	平成27年度
62 宇佐	策定済	平成27年度
63 宇佐	策定済	平成27年度
64 宇佐	策定済	平成27年度
65 宇佐	策定済	平成27年度
66 宇佐	策定済	平成27年度
67 宇佐	策定済	平成27年度
68 宇佐	策定済	平成27年度
69 宇佐	策定済	平成27年度
70 宇佐	策定済	平成27年度
71 宇佐	策定済	平成27年度
72 宇佐	策定済	平成27年度
73 宇佐	策定済	平成27年度
74 宇佐	策定済	平成27年度
75 宇佐	策定済	平成27年度
76 宇佐	策定済	平成27年度
77 宇佐	策定済	平成27年度
78 宇佐	策定済	平成27年度
79 宇佐	策定済	平成27年度
80 宇佐	策定済	平成27年度
81 宇佐	策定済	平成27年度
82 宇佐	策定済	平成27年度
83 宇佐	策定済	平成27年度
84 宇佐	策定済	平成27年度
85 宇佐	策定済	平成27年度
86 宇佐	策定済	平成27年度
87 宇佐	策定済	平成27年度
88 宇佐	策定済	平成27年度
89 宇佐	策定済	平成27年度
90 宇佐	策定済	平成27年度
91 宇佐	策定済	平成27年度
92 宇佐	策定済	平成27年度
93 宇佐	策定済	平成27年度
94 宇佐	策定済	平成27年度
95 宇佐	策定済	平成27年度
96 宇佐	策定済	平成27年度
97 宇佐	策定済	平成27年度
98 宇佐	策定済	平成27年度
99 宇佐	策定済	平成27年度
100 宇佐	策定済	平成27年度

⑤森林経営計画とは？  
森林の有する多面的機能発揮に資する持続可能な森林経営を確立するため、5年間の森林経営及び園地（園地の経営）に関する計画を作成するものです。  
森林所有者又は森林所有権者から森林の経営の委託を受けた方が、単独または共同で作成することができ、自治体長が認定をします（都道府県知事、農林水産大臣の場合あり）。

⑥-Zレットとは？  
① 所得税、相続税等の税制面で優遇及び特別措置が受けられます！  
② 森林環境保全推進事業等の補助金を活用できます！

森林認証(SGEC)も取得しています。  
森林認証とは、一定の基準等を満たす森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林及び経営組織などを認定する制度です。四国中央市では、森林経営計画の大半の森林が認証(FRI認証)されていることから、四国中央から森林認証材を供給できる体制が整っています。

⑦主伐再造林の推進！  
県では、充実した森林資源を背景に、平成28年度より「主伐再造林事業」を定め、関係機関と連携し、主伐を計画的・段階的に導入し、林業を地域の成長産業に育成することを目指しています。

⑧主伐再造林に関する補助金  
1. 次世代の森づくり促進事業  
主伐経費の一部支援 定額 900円/㎡ 関連条件整備 定額 40千円/ha  
ただし、県内木材市場等への出荷や更新計画の作成等の補助要件有り  
2. 広葉樹林化若元事業  
林道建設に併行する伐木、コナラなどの広葉樹植栽を支援し、広葉樹林化を促す。  
※その他にも、様々な補助事業がございますので、詳細は当項までご連絡ください。

あなたのお木がアメリカへ！  
現在、東予地域の山から採出された原木が、製材され、アメリカの住宅用木質材として輸出されていることをご存じでしょうか？  
最近アメリカでは、北米産ベイスギの代替品として日本産のスギが注目されています。既に東予の製材工場が輸出を開始しており、その規格が8フィート(約2.4m)、厚さが3インチ(約7.6cm)を折半するだけで、多量歩きの面で従来の3倍、4倍の造材が非常に有利になり、高い価格で取引ができます。また、8フィート(約2.4m)も加わり、4.5倍のニーズを高めています。  
四国中央市でも一部の事業者がこの方法での造材を開始しており、一定の成果を上げていますが、まだまだ需要に追いついていないのが現状です。皆さんのご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

えひめ国体に使用されました！  
四国中央地区林業研究グループ連絡協議会及び愛媛県木材協会四国中央支部の活動の一環として、県産ヒノキを用いて制作した木製プラットフォームが、えひめ国体ラグビー競技の表彰式や記念撮影などにおいて使用されました！全国の関係者から県産材をPRする絶好の機会となりました。

県立土居高校文化祭に初出展！！  
土居高校文化祭に林業ブースを初出展し、①ハーベスターシミュレーター体験スクラップル付きバックホウ及びチェーンソー操作体験②ドローン操作体験の3コーナーで林業体験を行いました。来だれ林業へ

人材育成と森林環境教育活動  
四国中央市内の幼稚園、小中学校、高等学校等で林業教育を実施し、伐倒作業、チェーンソーアートの見学や木工クラフト、大手製材工場見学等を行い、幅広い世代に森林や林業について理解と興味を深めていただきました。

乾たけのご生産の推進  
大手外資チェーン会社が本県産乾たけのごをラージ用メンブとして利用するため、全国に先駆けて乾たけのご生産を推進しています。  
林材を切り捨てたごを乾燥したごを積み重ねて乾たけのごを新たな受取入荷として活用していませんか？

平成29年度に表彰された個人・団体の皆様  
① 愛媛県農産加工振興協会(株) 藤田 池山幸一氏  
林業に貢献されたことが評価されました。  
② 宇佐市立中央小学校  
国土緑化推進機構理事長賞：土居小学校  
地元産材を採りあげたごの緑化活動、戸川公園等の整備や緑化推進の推進等の地元産材への貢献が評価されました。  
③ 平成29年度愛媛県土居村共済連合会理事長の部  
愛媛県共済会理事長賞：大塚 正孝氏  
原木の伐倒時期や、母材の整備・乾燥調整を適切に行い、品質の向上に向けた生産を行っていることが評価されました。  
④ 全日本学校関係強化コンクール 国土緑化推進機構理事長賞：四国中央市立高小中学校  
学校林を活用した林業教育や緑化推進、1人1樹運動による緑化活動等が評価されました。

森とくらす活動

4 事業期間

平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	県民参加人数	400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費	10,025千円	10,898千円	10,898千円	10,898千円	10,898千円	53,161千円
	うち森林環境税	3,583千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	19,583千円
実 績	県民参加人数	400人	400人	742人	人	人	人
	事業費	9,341千円	9,853千円	10,525千円	千円	千円	9,263千円
	うち森林環境税	3,129千円	3,119千円	3,799千円	千円	千円	3,051千円
実施箇所		県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	

### ⑤ 「森林わくわく体験」 推進事業

幼稚園や小中学校において、森林をテーマにした体験活動を教育課程に位置付け、子どもたちに豊かな感性と、生命や森林を愛し大切にしていこうとする態度を育む教育を推進します。

#### 1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能を有しています。森林の保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民の理解を深めていくことが求められています。そのためには、幼児期から子どもの発達の段階に応じた森林に親しむ学習を進めていくことが有意義です。

そこで、森林における様々な体験を取り入れた教育活動を展開する幼稚園2園・小中学校3校を指定し、森林に対する理解を深め、生命や森林を大切にしていこうとする態度の育成を図るとともに、その成果の普及に努めることで、森林環境保全意識をもった人作りに貢献します。

#### 2 事業内容

「森はともだち」 推進事業	「森のようちえん」 推進事業
○補助金交付先 市町 (平成28・29年度指定公立小学校1校) (平成29・30年度指定公立小中学校2校) ○補助金額 300千円×3校=900千円(補助10/10) ○実施主体 市町 ○補助対象事業 「森はともだち」 推進事業 ・目的 森林環境を大切にする児童生徒を育てる。 ・事業実施校の設置 (平成28・29年度指定) 公立小学校1校 (平成29・30年度指定) 公立小中学校2校 ・活動例 身近な森林や河川、海岸の調査 森林の植樹、枝打ち、清掃、巣箱設置等の森林保護活動 県産木材や竹材を利用したクラフトや炭作り 木材市場・加工場の見学	○補助金交付先 市町 (平成28・29年度指定公立幼稚園1園) (平成29・30年度指定公立幼稚園1園) ○補助金額 300千円×2園=600千円(補助10/10) ○実施主体 市町 ○補助対象事業 「森のようちえん」 推進事業 ・目的 森が大好きな幼児を育てる。 ・事業実施園の設置 (平成28・29年度指定) 公立幼稚園1園 (平成29・30年度指定) 公立幼稚園1園 ・活動例 森林を生かした遊びの展開 (探検、木登り、ロープブランコ、基地作り、ネイチャーゲーム、森の自然物を使った製作など) 森の中の生き物との触れ合い

#### 3 平成29年度実績

(1) 実績額 1,727千円(うち、森林環境税1,727千円)

(2) 実施状況

指定年度	事業実施校	テーマ	実施内容	参加人数	事業費
H28・29	松山市立栗井小学校	自然に親しみ、自然のよさに気づき、自然を大切にしようとする児童の育成 ～地域の自然や人々に関わる体験活動、振り返りにおける交流を通して～	・森林・河川の調査 ・森林や河川の生き物観察 ・森林でのネイチャーゲーム	484人	300千円
H29・30	八幡浜市立日土小学校	豊かな心もち、生き生きと学び合う児童の育成 ～ふるさとと自然や人とかわる感動体験を通して～	・森林探検 ・森の博物館づくり ・森の音楽会	123人	300千円
H29・30	久万高原町立久万中学校	ひと・里・森がふれあい、自然を愛する生徒の育成 ～地域から学ぶ「総合的な学習の時間」の実践を通して～	・製材所見学 ・枝打ち体験 ・間伐作業	49人	300千円
H28・29	西予市立野村幼稚園	西予市の森林を探検し豊かな自然に触れ、感性を育むとともに、心豊かでたくましい幼児を育成する。	・木工遊び ・溪谷ウォークラリー ・椎茸観察	320人	300千円
H29・30	四国中央市立三島東幼稚園	心豊かでたくましく生きる幼児の育成 ～地域の森林での自然体験活動を通して～	・親子木工教室 ・森林でのネイチャーゲーム ・木材伐採見学	249人	300千円
計				1,225人	1,500千円

※227千円は、事務局(義務教育課)が実施する協議会等の経費

森とくらす活動

「森はともだち」推進事業

「森のようちえん」推進事業

粟井小学校	日土小学校
森林の調査	森の音楽会
	
久万中学校	
間伐作業体験	
	

野村幼稚園
渓谷ウォークラリー

三島東幼稚園
木の伐採見学


4 事業期間 平成27年度 ～ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	「森はともだち」推進事業	500人	750人	750人	750人	250人	3,000人
	「森のようちえん」推進事業	100人	200人	200人	200人	100人	800人
	事業費	1,077千円	1,732千円	1,727千円	1,732千円	726千円	6,994千円
	うち森林環境税	1,077千円	1,732千円	1,727千円	1,732千円	726千円	6,994千円
実績	「森はともだち」推進事業	527人	839人	656人	人	人	人
	「森のようちえん」推進事業	160人	467人	569人	人	人	人
	事業費	1,077千円	1,732千円	1,727千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	1,077千円	1,732千円	1,727千円	千円	千円	千円
実施箇所	公立小中学校2校 【新規2校】 大生院中(新居浜市) 伊方小(伊方町)  公立幼稚園1園 【新規1園】 宮内幼稚園 (砥部町)	公立小中学校3校 【継続2校】 大生院中(新居浜市) 伊方小(伊方町) 【新規1校】 粟井小(松山市) 公立幼稚園2園 【継続1園】 宮内幼稚園 (砥部町) 【新規1園】 野村幼稚園 (西予市)	公立小中学校3校 【継続1校】 粟井小(松山市) 【新規2校】 久万中(久万高野町) 日土小(八幡浜市) 公立幼稚園2園 【継続1園】 野村幼稚園 (西予市) 【新規1園】 三島東幼稚園 (四国中央市)	公立小中学校3校 【継続2校】 久万中(久万高野町) 日土小(八幡浜市) 【新規1校】 九和小(今治市) 公立幼稚園2園 【継続1園】 三島東幼稚園 (四国中央市) 【新規1園】 川上幼稚園 (東温市)	公立小中学校1校 【継続1校】  公立幼稚園1園 【継続1園】		

## ⑥都市近郊林保全事業

県民が緑と親しむことのできる森林空間を整備し、県民の交流の場を提供することを目的としています。

### 1 ポイント

県が管理している丸山墓地について、当該地に存在する森林の有する公益的機能に着目し、その森林環境を積極的に保全していく観点から、緑地の適正管理を行い、県民が緑と親しむことのできる森林空間を整備し、県民の交流の場を提供します。

### 2 事業内容

丸山墓地内の愛媛県戦没者慰霊塔「英魂」の前面及び周辺部における緑地整備事業  
(除間伐、伐採木の撤去、剪定、苗木・幼木の植替え、機械除草ほか)

### 3 平成 29 年度実績額

(1) 実績額 314 千円 (確定) (全体事業費 314 千円)

#### (2) 実施状況

愛媛県戦没者慰霊塔が所在する丸山墓地は、樹木が立ち並ぶ豊かな森林空間となっており、県民が訪れ、身近に緑と親しむことができるよう、樹木の除間伐、剪定等のほか、幼木の成育を促すための植替え、土壌改良などの整備を行いました。



丸山墓地 (愛媛県戦没者慰霊塔周辺)

### 4 事業期間 平成 27 年度 ~ 平成 31 年度

### 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	訪問者数	450人	450人	450人	450人	450人	2,250人
	事業費	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円	2,500千円
	うち森林環境税	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円	2,500千円
実 績	訪問者数	370人	370人	370人			
	事業費	494千円	465千円	314千円			
	うち森林環境税	494千円	465千円	314千円			
実施箇所		丸山墓地 (松山市北斎院町 25番地外)	同左	同左	同左	同左	